

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 新井 智

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2014年8月号
No.229

すべての働く人、すべての職場に労働組合を！リーダーの情熱ある行動を！



連合群馬「1000万連合」実現に向けたトップセミナー

連合は「すべての働く人、すべての働く職場に労働組合をつくろう」を合言葉に、2020年「1000万連合」の実現をめざしています。連合群馬も結成以来過去最高人数12万5千人（プラス30,000人）を目標に取り組みを強化しておりその一環として6月21日、群馬県勤労福祉センターにて「1000万連合」実現に向けたトップセミナーを実施し、産別・単組・支部の代表や地協の議長をはじめ、各組織における組織拡大担当者、総勢80名が参加しました。

北川会長より組織化の必要性について「ブラック企業など課題を解決するために、ともに運動する仲間を増やし集団的労使関係を広げていくことが必要です。また、企業連における非正規労働者や子会社、関連会社で働く仲間の組織化を進め、企業力を高め働く上での安心・安定につなげて行くことは、その大切さを一番よく知っている各組織のリーダーを中心とした、我々の責務であります。我々の後輩、子どもたちが労働組合のない働く環境にならないようにより一層の時間と情熱を注ぎ込んでいきたい。」と「1000万連合」実現に向けた決意が述べられました。



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

本部組織化専任チーム 江口局長より、「今、組合リーダーに求められること」をテーマに集団的労使関係と労使自治の重要性について話がされました。

これまでの労働運動や組合づくりでの事例を盛り込みながら、「民主党政権下において、労働契約法（無期雇用への転換5年以上、雇い止め法理の法廷化など）、高齢者雇用安定法、労働者派遣法など労働者のための法改正がされてきた。一方、多様化する雇用形態に労働組合が追従できずユニオンショップの脇の甘さから企業や労働組合が崩れていく例がでてきている。」と労働組合の責任によって雇用が失われる可能性や、「関連企業や非正規労働者も含めた競争力を支える仲間のユニオンショップ化・組織化を進めていかなければならない。」など組織拡大の重要性について語られました。

また、「リーダーは、“知識がある”“優秀である”とかでなく、働く仲間にも耳を傾けられるかであり、一人を救えない者に全員は救えない。だからこそ組織はリーダーで決まってしまうことが組合にとっての強みでもあり、リスクでもある。各組織の働く仲間の将来はここにいるリーダーによって決まってくる。」と働く者の代表としての奮闘への期待が述べられました。



リーダーへの期待を語る江口局長

家族や友人が困っていませんか

連合群馬は平日9:00～17:00まで無料の電話相談を行っており、毎日、労働組合のない企業で働く仲間からの相談がかかっています。家族・友人など身近な方で悩んでいる方がおられましたら連合群馬「なんでも労働相談」を是非ご紹介ください。

■不払い残業 ■有給休暇 などの労働問題

なんでも労働相談ダイヤル
0120-154-052



産別との対話行動ただ今、推進中

連合群馬は結成以来過去最高となる12万5千人（プラス3万人）をめざし、総力をあげ組織拡大に取り組んでいます。3月からは産別の組織拡大担当者との対話をスタート。組合づくりに向けた連携など課題や現状について情報交換を行っています。

また、産別と連携を密にした取り組みからひとつの組合が結成することができました。

これからも継続した連携をはかっていきます。



男性の育児休業 促進学習会

男女が共に働きやすい環境づくりを!

6月21日、群馬県勤労福祉センターで開催し、産別・地協から男女平等参画推進担当者や今後育児を予定している青年層の組合員など85名が参加しました。



連合群馬では、毎年6月を男女平等月間と設定し、様々な取り組みを行っています。今年度は、男女が共に働きやすい環境づくりをするため、「男性の働き方を考える」という視点で、男性の育児休業取得促進をテーマに学習会を開催しました。

主催者挨拶 ～連合群馬 吉田副会長～

男女平等実現という課題については、長い時間をかけて取り組んできた大きな課題です。女性の就業の継続を阻害している大きな原因は育児であり、育児は女性の専任行為というイメージがまだに色濃く残っています。本学習会を通じて、男女が共同して育児にあたることを常識と出来るような社会とすべくお互いに努力していけたらと思います。



連合群馬第3次男女平等参画推進計画の進捗

～連合群馬 鈴木誠副事務局長～

連合群馬第3次男女平等参画推進計画に基づき、産別・単組へ調査した結果の報告と、当面の取り組みについて説明を行いました。



調査結果では、連合群馬の女性組合員比率23.1%に対し、女性役員数は産別14.5%、単組11.6%であり、女性役員の登用がまだまだ進んでおらず、要因として、組合活動に対して興味を持ってもらえないこと。解決策として女性対象のイベントを開催することが挙げられました。

当面の取り組みとしては、2014年10月までに産別では男女で構成する特別委員会、地協では女性委員会を設置することや、各種行事への女性組合員の参加などのお願いがありました。

連合群馬第3次男女平等参画推進計画の具体的な取り組み

1. 産別・構成組織
 - ・特別委員会の設置、推進計画の策定
2. 地協
 - ・女性委員会の設置
3. 産別・構成組織・地協
 - ・各種行事への女性の参加
 - ・定期大会へ女性代議員の選出

育児休業取得体験談

～富士重工労組 加藤 亨氏（2か月間取得）～

育児休業を取得するに当たり、会社の規則や雇用制度を確認し、不安を抱えていたが、上司に相談をしたところすんなりとOK。「いいことだね」と言われ、休暇日数や取り方など、色々と情報提供いただきました。



職場復帰に関しては、2か月では大きな状況の変化はなく、職場への復帰は非常にスムーズに何の問題もなく、逆に待ってたぞと歓迎された状況でした。

これから育児休業の取得を考えている方は、出産後の体調不安を支える子どもとの時間を共有したいなど目的を明確にすること。育児休業制度を使う以外の手段を考えること。会社の制度を入念に調べること。そして、取ると決めたら覚悟を決め、ゆっくりと自分の思ったように過ごして頑張りましょう。

～玉村町職 武士 浩之氏（1年間取得）～



きっかけは、自分で子育てを専業でやってみたかったことと、タイミングが良かったことです。

育児休業取得にあたっては、周りへ繰り返しアナウンスしたこと。「取ります！取ります！」ということを毎日のように言い続け、1年以上言い続けました。さらには制度の確認、組合から当局に対して要求書を出し回答を確認して休業に入りました。

これから育児休業を取得する方は、積極的にとってみてください。良いことも悪いこともあります。それぞれの人間成長であったり、これからの仕事面でもあったりいろんな面でプラスになります。

男だから女だから、苦手・得意、好き・嫌い関係なくみんながやるということで、いい社会ができると思います。

群馬県における男性の育児休業促進に向けた取り組み

～群馬県労働政策課 久我 敦子氏～



群馬県では、育児休業制度の充実と利用促進を図り、男女ともに働きやすい職場環境整備のため、企業のトップや管理職向けに「イクボス養成塾」を実施し、トップの意識改革や知識の習得、理解を促すためのセミナーなどを開催しています。それと並行し、働く男性向けに「イクメン養成塾」を実施して、制度の基礎知識や育児参加の必要性などをお話することで、企業サイド、労働者サイドそれぞれからの意識改革を促しています。

他にも、育児休業の充実、利用促進をはかり働きやすい職場環境づくりを推進する中小企業に対し、「群馬県育児いきいき参加企業認定制度」を実施しています。認定されると、県のHPなどでPRしますので、企業のイメージアップをはかることができます。

群馬県では、誰もが安心して働くことのできる社会、活躍できる社会が実現することを目指してこれからも取り組んでいきます。

2日間で
12件!

セクハラ・パワハラで労働相談



6月10・11日の2日間、連合は全国一斉で「働く女性の労働相談キャンペーン」を実施し、連合全体676件の相談が寄せられました。

全国の労働相談では「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が26.9%、「マタハラ」が4.4%と全体の3割強を占めていました。

連合群馬では、女性委員と連合群馬女性職員が対応し、12件の相談を受け「上司が威圧的」「同僚からの嫌がらせ」などの相談がありました。

相談内容は、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が全体の55%を占める結果となりました。

対応した女性委員からは、「労働組合があれば、組合が解決に向けて動いてもらえるのに、組合がないとアドバイスしても自分で対応していかなくてはならないので可哀そう。」などの感想がありました。

連合では、働く仲間の支援としてフリーダイヤルによる「労働相談窓口」(0120-154-052)を設けています。ぜひ、友人・知人に声掛けください。

“願う”平和から“叶える”平和へ

6月23～25日、6産別と1議員の計12名にて沖縄平和行動に参加しました。

今年は、「願う」平和から「叶える」平和へ。つながろうNIPPON!をキーワードに「2014年平和沖縄集会」が初日に開催されました。

集会では、基調講演「日米地位協定の抜本的見直しおよび在日米軍基地の整理縮小」について、沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題であること。また、平和式典では、地域・職場から「平和メッセージ」、連合広島への「ピースリレー」、連合沖縄「平和アピール」など全国各地から、働く仲間1,000人以上で共有しました。

2日目には、連合埼玉と合同で、沖縄戦の戦跡を巡り、当時の悲惨な状況や平和の大切さ、命の尊さなどを学び、最後は連合全体のデモ行進に参加し世論喚起の一翼を担いました。

多少のハプニング(?)はありましたが、参加者からは「参加して大変勉強になった」との感想も寄せられ、有意義な平和行動になりました。

是非、参加されていない方は積極的な参加をお願いします。



平和パレードで世論喚起する参加者

連合群馬ふれあいフェスティバル総括会議を開催

今年のフェスティバルを締めくくりにあたり、総括会議を7月14日、前橋さくらホテルにおいて開催し、55名が参加しました。

会議の中では、北川会長(フェスティバル実行委員長)から「ふれあいフェスティバルは家族、地域の皆さまに連合を知ってもらい取り組みとして定着してきた。更に今年は、地域に対し、積極的にアプローチしていただいたことで、手作り感のある内容となり、良い雰囲気の中で家族の笑顔が見られた取り組みとなった」と各地域の取り組みに対するお礼が述べられました。

会議は、県連合から各地区の取り組みを一括して報告するとともに、各地区からの補足説明や感想をいただいた後、総括素案を提案し、参加者との意見交換を踏まえ、全員で共有しました。



今年度の取り組みを振り返り挨拶する北川会長



伊勢崎地協の取り組みを補足説明する根岸副議長

連合群馬ユニオン 労災防止に向け安衛法を学習

連合群馬ユニオンでは、県内での労働災害死亡事故が多発していることを受け、6月21日に群馬県勤労福祉センターで「労働安全衛生法」の学習会を開催しました。

群馬労働局から健康安全課の寺村課長を講師に迎え、企業や事業所における「安全衛生委員会」の役割について説明を受けました。

安全衛生委員会は、企業における「経営会議や事業運営会議」と同じくらい重要なものであり、群馬労働局としては重きを置いている。一度、労働災害が起きると被害者のみならず企業にとってもダメージが大きい問題であり、労働災害の撲滅に向けた取り組みを強化してほしい」との要請がありました。

各企業での取り組みに向け、意思統一する貴重な学習会となりました。



ときには笑いを交えた寺村課長の講義

みどり市長との意見交換 政策要求の早期実現をめざして!

連合群馬では、昨年
から「政策・制度要求
と提言」の早期実現に
つなげるため、市町村
長との連携を強化する
ことを目的に開催して
おり、6月24日にみ
どり市長との意見交換
を行いました。



石原市長（手前左端）と意見交換する県連合・桐生地協の役員

意見交換では、みどり市を管轄する桐生地域協議会の四役も交え、連合群馬ならびに地域協議会の活動紹介、連合群馬が政策・制度要求に取り組む意義について理解を求めました。

市長からは、「ボランティア活動やみどり市の施設を活用したイベント開催に感謝する。今後も連携しみどり市発展に協力いただきたい」とのコメントがありました。

2014年統一地方選挙の「第一次推薦候補」紹介

政策・制度要求と提言の実現に向け、我々の声を議会にとどけるため、選挙戦勝利に向け、組合員とその家族を含め、ご支援・ご協力をお願いいたします。

	氏名	要請団体	選挙区
	小川あきら 現職①	前橋地協	県議会議員選挙 (前橋市区)
	本郷 高明 新人	日教組	県議会議員選挙 (前橋市区)
	高橋美奈雄 現④	JR総連	高崎市議会議員選挙
	柳沢 浩之 現①	JR総連	安中市議会議員選挙

館林市議会議員選挙 連合群馬推薦候補

助け合いのきずなのある
地域社会の実現



渡辺 みつのり

告示日：9月14日
投票日：9月21日

青年スポーツ交流会を開催

6月7日、産別・単組の枠を超えた仲間づくりを目的に県勤労福祉センターで開催し96人が参加しました。

交流では、スポーツ交流との名のとおり、体を使った「だるまさんがころんだ・ソフトバレー・ドッチビー」や連合群馬の組織に関する問題などを中心にした「〇×クイズ」で、頭も使ってもらい得点形式による班対抗で行った他、昼食時にも班ごとに組織や地域の枠を超えた交流と、チームワークの大切さについて学びました。

また、政治への関心を高めてもらおうと、議員懇談会から参加した若手議員（後藤・あべ・小川県議、都丸大泉町議）を加えチーム編成を行い、一緒に汗を流しました。



ソフトバレーボールで汗を流す参加者

終了後は、今回の交流をきっかけに連絡先を交換するなど、大いに交流を深めたイベントとなりました。

誰もが生活できる賃金水準へ

最低賃金の引上げと遵守を求める全国キャンペーンの一環として、6月16日～19日の期間で、高崎駅西口・太田駅南口・前橋駅北口で議員懇と連携した停止街宣を行い、最低賃金の引上げと遵守を訴えました。

参加した議員から「群馬県の最低賃金は707円です。これは決して高い金額ではありません。誰もが最低限の生活を送るために、行政と政治がサポートし政策と共に最低賃金を引上げることが必要です。また、景気回復には、地域で汗水流して働いている中小地場企業の人たちの賃金を引上げ、元気になることが必要です」と強く訴えました。



太田駅前で最低賃金の引上げを訴える

お知らせ

連合平和行動 in 根室

日程：9月13日～16日（3泊4日）

募集人員：15名程度

参加費：145,000円/人（羽田空港起点）

女性のための講座&ランチ交流

日程：9月13日（土）9：45～12：30

場所：前橋商工会議所（マック・スクエア）

内容：スタビライゼーション講座&ランチ交流

参加費：2,000円/人

次世代リーダー育成学習会

日程：9月13日（土）13：30～15：00

場所：群馬県勤労福祉センター

内容：連合群馬北川会長との意見交換